

株式会社グリスタ
が紹介します!

面白がりクラブウ人

“仕事を面白い”とは「既存の枠を壊して新しいことに挑戦し、自ら何かを変えていくこと」。
また、「さまざまな困難に立ち向かい、その状況を楽しんで自分の成長につなげること」。
この企画では「この人こそ面白がって仕事をしてる!」と思うクラブウ社員を社外のパートナー企業から紹介していただきます。



今回ご紹介いただくパートナー企業



株式会社グリスタ
Global Lifestyle Standard Inc.

エンジニアでバレーボールの指導者であった斎藤利氏が、「スポーツを科学する」ことから当時注目されていた遺伝子解析に注目、2014年に設立された会社。当初は個人向けの遺伝子解析キットの販売を主にしていましたが、解析データを使いこなせるトレーナーや医師、栄養士を通して初めてデータに意味が生まれるとの考えから、法人向けを中心に「IDENSIL」ブランドで高精度な遺伝子分析を提供し、この分野における先端企業。

1本のメールから生まれた、新しいビジネス

松本：クラボウのバイオメディカル部は、技術研究所での開発をもとに、除粒子減菌ろ過フィルターの販売からスタートしました。現在では遺伝子解析の技術を蓄積しています。そこへある日、メールが届いたんです。

斎藤：弊社はスポーツチームなど法人向けに遺伝子解析を行う会社です。ただ

2020年の時点で、当時利用していた遺伝子解析の会社の精度やシステム、改善のステップに不満がありました。そこでWebサイトでクラボウさんの技術を知り、メールさせていただいたのがきっかけです。

松本：それまでクラボウでは、家畜など動物の遺伝子解析はしていましたが、ヒトはあまりやっていなかった。でもぜひ挑戦したい分野だったので、斎藤さんからの連絡はとてうれしくて、テンションが上がりました(笑)。



斎藤：話をしたら、松本さんはもともと技術者だから理解が早い。こちらが望む検査手法、検査方法、そして費用面など、不満だったところが一気に解消し、私たちの「IDENSIL」というサービスを一緒に作り上げることができました。

中田：私は管理栄養士でプロジェクトには途中から参加しましたが、松本さんは相談しやすく、さまざまな提案をしてくださいます。

松本：ありがとうございます。目の前で褒めてもらえると思えますね(笑)。



「IDENSIL」の遺伝子検査キット。唾液を採取して検査する



プロのアスリートが取り入れる、検査をもとにした体質改善

斎藤：「IDENSIL」で遺伝子解析を行うことで、まず個人の体質を理解できます。そしてその体質に合った食生活や運動方法、生活習慣を提案することで、健康や美容、スポーツなどで成果をあげることがつながることがあります。

松本：これからもっとデータが蓄積されていって、遺伝子と体質や病気のかかわりの関係などがもっとわかるようになると、遺伝子解析はもっと一般的になるでしょうね。

中田：スポーツではケガの予防や体力維持に活用が始まっていますね。

斎藤：体操の内村航平さんをはじめ、格闘家の那須川天心さん、水泳の池江璃花子さんなど、うちの「IDENSIL」をもとにカラダ作りをされているアスリートの方は多いです。プロ野球独立リーグの富山サンダーバーズなどは、元ヤクルトスワローズの伊藤智仁さんが監督時代(2018年)にチーム単位で参加してくれました。そこから、湯浅京己投手(阪神タイガース)などプロ野球(NPB)にどんどん人材を送り込んでいます。これからもますます増えていこうと思います。

松本：自分が関わったサービスが、多くの人の役に立っていて、うれしいなあ。実は僕も昔は野球少年で。クラボウは社内の野球大会が盛んなんです。僕も戦力になるために、「IDENSIL」で検査してもらわないとダメですね(笑)。

斎藤：検査の結果をどう生かすかは、松本さん次第ですけどね(笑)。

